

令和3年度 第1回兵庫県スポーツ推進審議会

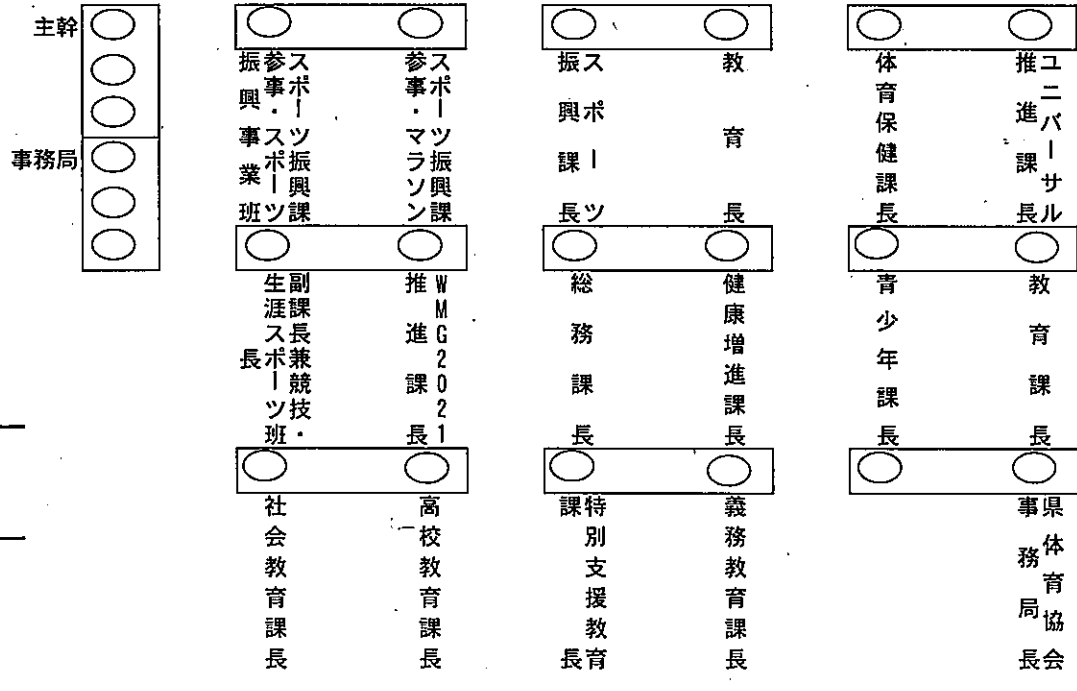
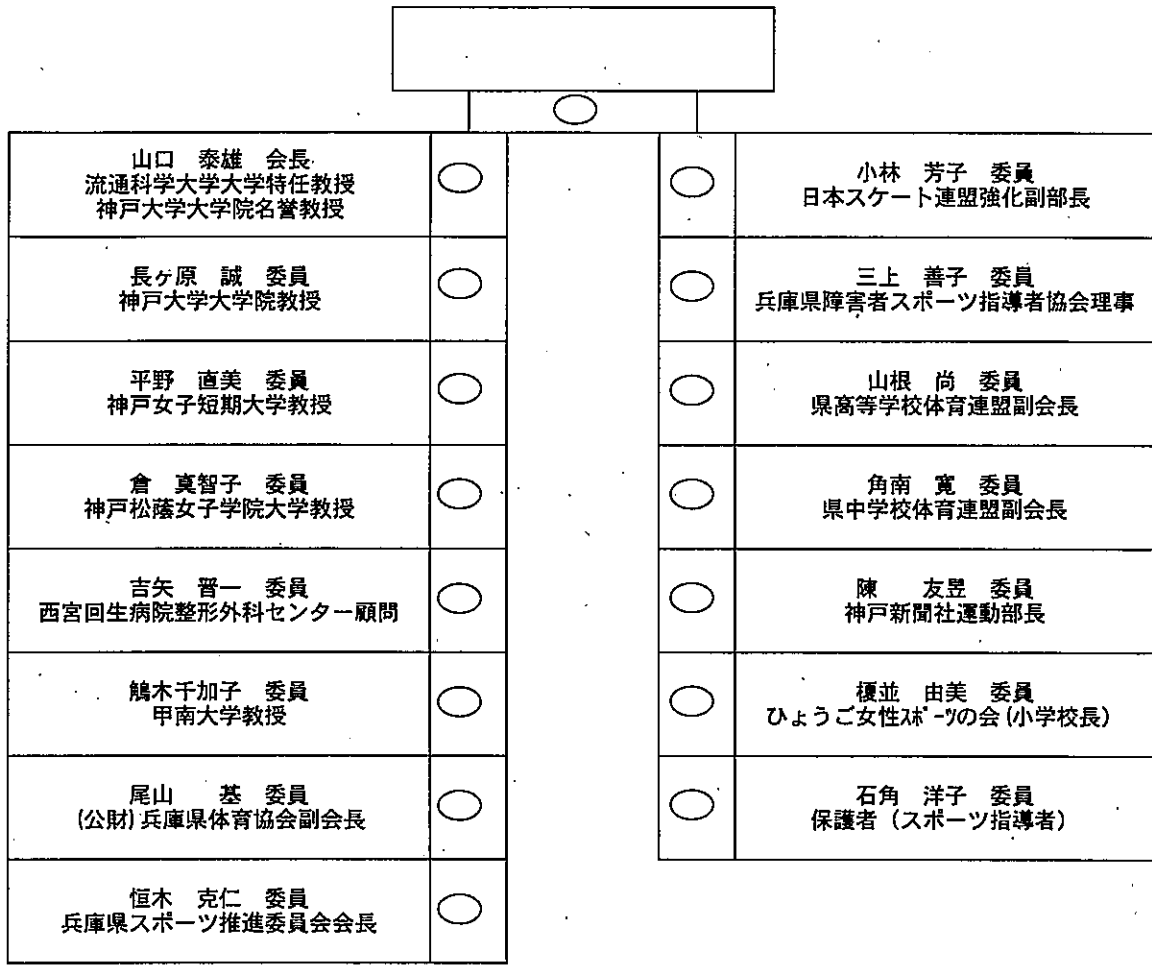
と き : 令和3年7月27日(火) 10:30~12:00
と ころ : 兵庫県民会館 10F 「福」

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委員・幹事紹介
- 4 会長の選出
- 5 署名委員の指名
- 6 前回議事録の報告
- 7 報告事項
 - (1) 令和3年度の事業概要について 資料1
 - ・スポーツ振興課
 - ・体育保健課
 - ・WMG2021 推進課
 - ・ユニバーサル推進課
- 8 審議事項
 - (1) 第2期兵庫県スポーツ推進計画策定について(諮問) 資料2
 - ・兵庫県スポーツ推進計画(現行)の総括について 資料3
 - ・兵庫県「県民スポーツ意識調査」結果について 冊子
 - (2) 第2期兵庫県スポーツ推進計画策定委員会・各部会の設置 資料4
- 9 今後のスケジュール 資料5
- 10 閉会

令和3年度第1回スポーツ推進審議会 座席図

兵庫県民会館「福」

受付
消毒マスク



スポーツ推進審議会委員

(任期：令和3年7月1日～令和5年6月30日)

	分野	氏名	(所属・役職名)
1	スポーツ社会学	山口 泰雄	流通科学大学特任教授 神戸大学大学院名誉教授
2	スポーツ科学	長ヶ原 誠	神戸大学大学院教授
3	食育・栄養学	平野 直美	神戸女子短期大学教授
4	こども発達学	倉 真智子	神戸松蔭女子学院大学教授
5	医科学	吉矢 晋一	西宮回生病院整形外科センター顧問
6	コーチ学	嶋木千加子	甲南大学教授
7	スポーツ 関係団体	尾山 基	(公財)兵庫県体育協会副会長
8		恒木 克仁	兵庫県スポーツ推進委員会会長
9	競技種目団体	小林 芳子	日本スケート連盟強化副部長
10	障害者スポーツ全般	三上 善子	兵庫県障害者スポーツ指導者協議会理事
11	高等学校 スポーツ関係	山根 尚	県高等学校体育連盟副会長
12	中学校 スポーツ関係	角南 寛	県中学校体育連盟会長
13	報道	陳 友昱	神戸新聞社運動部長
14	公募委員	榎並 由美	ひょうご女性スポーツの会副幹事長
15		石角 洋子	保護者 (スポーツ指導者)

兵庫県スポーツ推進審議会幹事・陪席者 名簿

(委嘱期間: 令和3年7月1日～令和5年6月30日)

	氏 名	役職名
1	小倉 陽子	企画県民部 管理局 教育課長
2	吉村 興二	企画県民部 女性青少年局 青少年課長
3	藤原 恵美子	健康福祉部 健康局 局参事兼健康増進課長
4	中井 佳奈子	健康福祉部 障害福祉局 ユニバーサル推進課長
5	吉田 克也	教育委員会事務局 参事兼総務課長
6	中野 恭典	教育委員会事務局 財務課長
7	村田 かおり	教育委員会事務局 義務教育課長
8	小俵 千智	教育委員会事務局 特別支援教育課長
9	西田 利也	教育委員会事務局 高校教育課長
10	杉谷 康志	教育委員会事務局 社会教育課長
11	北中 睦雄	教育委員会事務局 体育保健課長
12	榑 丈直	教育委員会事務局 WMG2021推進課長
13	田中 正晴	教育委員会事務局 スポーツ振興課長
陪席	藤原 博文	(公財) 兵庫県体育協会 事務局長
陪席	織邊 剛	教育委員会事務局 課参事 (神戸マラソン担当)
陪席	田村 純一	教育委員会事務局 課参事 (スポーツ振興事業班担当)

兵庫県スポーツ推進審議会条例

昭和 37 年 4 月 1 日

条例第 21 号

改正 平成 20 年 3 月 24 日 条例第 30 号

平成 23 年 10 月 7 日 条例第 41 号

兵庫県スポーツ振興審議会条例をここに公布する。

兵庫県スポーツ推進審議会条例

題名改正〔平成 23 年 条例 41 号〕

(設置)

第 1 条 スポーツ基本法 (平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。) 第 31 条の規定に基づき、兵庫県スポーツ推進審議会 (以下「審議会」という。) を置く。

全部改正〔平成 23 年 条例 41 号〕

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

- (1) 法第 10 条第 1 項の規定によるスポーツ推進計画の策定に関する事項
- (2) 法第 35 条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関する重要事項

追加〔平成 23 年 条例 41 号〕

(定数)

第 3 条 委員の定数は、15 人とする。

一部改正〔平成 23 年 条例 41 号〕

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

一部改正〔平成 23 年 条例 41 号〕

(補則)

第 5 条 この条例に定めるもののほか、審議会に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正〔平成 23 年 条例 41 号〕

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(附属機関設置条例の一部改正)

2 附属機関設置条例 (昭和 36 年兵庫県条例第 20 号) の一部を次のように改正する。

第 2 条の表に次のように加える。

スポーツ推進審議会	スポーツ基本法 (平成 23 年法律第 78 号) によるスポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項の調査審議に関する事務
-----------	---

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

3 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例 (昭和 35 年兵庫県条例第 24 号) の一部を次のように改正する。

第 1 条第 41 号から第 42 号の 2 までを次のように改める。

(41) から (42) の 2 まで 削除

第 1 条第 77 号の次に次の 1 号を加える。

(77) の 2 スポーツ推進審議会

別表第 1 スポーツ振興審議会の項を削り、同表人と自然の博物館協議会の項の次に次のように加える。

スポーツ推進審議会	委員	日額	12,500 円
-----------	----	----	----------

別表第 2 スポーツ振興審議会の委員の項を削り、同表人と自然の博物館協議会の委員の項の次に次のように加える。

スポーツ推進審議会の委員	職員旅費条例中 8 級の職務にある者相当額
--------------	-----------------------

兵庫県スポーツ推進審議会規則

昭和37年4月1日
教育委員会規則第7号

改正 昭和40年6月1日教育委員会規則第9号 昭和42年8月18日教育委員会規則第10号
昭和47年4月1日教育委員会規則第26号 昭和58年4月1日教育委員会規則第9号
平成23年10月7日教育委員会規則第12号

兵庫県スポーツ振興審議会規則をここに公布する。
兵庫県スポーツ推進審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県スポーツ推進審議会条例(昭和37年兵庫県条例第21号)第5条に基づき、兵庫県スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)に関して必要な事項を定めるものとする。

(会長)

第2条 審議会に会長を置く。

2 会長は、委員の互選によって定める。

3 会長の任期は、委員としての任期とする。

(会長の職務及びその代理)

第3条 会長は、審議会の会務を総理する。

2 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、在任委員の半数以上の出席がなければ、議事を開き議決をすることができない。

(幹事)

第5条 審議会に、幹事若干人を置く。

2 幹事は、兵庫県教育委員会事務局職員又は関係行政機関の職員のうちから教育委員会が委嘱する。

3 幹事は、会長の命を受け調査審議について委員を助ける。

(補則)

第6条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関して必要な事項は、審議会が定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和40年6月1日教育委員会規則第9号)

この規則は、公布の日から施行し、昭和40年4月1日から適用する。

附 則(昭和42年8月18日教育委員会規則第10号抄)

(施行期日)

1 この規則は、昭和42年8月18日から施行する。

附 則(昭和47年4月1日教育委員会規則第26号抄)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則(昭和58年4月1日教育委員会規則第9号抄)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成23年10月7日教育委員会規則第12号)

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に兵庫県スポーツ振興審議会の委員に委嘱されている者は、兵庫県スポーツ推進審議会の委員に委嘱されたものとみなす。この場合において、その委員の任期は、兵庫県スポーツ振興審議会の委員として委嘱された日から起算する。

(兵庫県教育委員会行政組織規則の一部改正)

3 兵庫県教育委員会行政組織規則(昭和58年兵庫県教育委員会規則第9号)の一部を次のように改正する。

(次のよう略)

令和2年度第2回兵庫県スポーツ推進審議会 議事録

1 期日・場所 令和3年3月16日(火) 10:00~12:00
兵庫県民会館 「303会議室」
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16-3

2 出席者
(委員11名)

山口委員	平野委員	倉委員	吉矢委員
鳩木委員	恒木委員	小林委員	増田委員
陳委員	榎並委員	石角委員	

欠席：長ヶ原委員 尾山委員 升川委員 村崎委員

(幹事10名)

○小倉幹事	○竹谷幹事	○中井幹事	中野幹事
村田幹事	○小俵幹事	西田幹事	前川幹事
山根幹事	田中幹事		

欠席：藤原幹事 吉田幹事

北中スポーツ振興課参事(陪席)
榊スポーツ振興課参事(陪席)
藤原兵庫県体育協会事務局長(陪席)
(○印は代理出席)

(教育委員会) 西上教育長

(事務局) 岡本副課長 本多主任指導主事兼主幹
財田主任指導主事 加藤指導主事

3 開会あいさつ 西上教育長

4 委員・幹事紹介

5 署名委員の指名 署名委員は、倉委員、鳩木委員に決定

6 前回議事録の報告

令和2年度第1回兵庫県スポーツ推進審議会の報告事項(令和2年度の事業概要について、「兵庫県スポーツ推進計画」進捗状況と「第2期兵庫県スポーツ推進計画[仮称]」について)の議事録について事務局より説明し、承認を受けた。

7 審議事項

「令和3年度スポーツ振興団体に交付する補助金」について

令和3年度スポーツ振興団体に交付する補助金の内容について事務局より説明し、承認を受けた。また、「ひょうご女性スポーツの会」について、情報共有を行った。

8 報告事項

(1) 令和3年の事業概要について

- ① スポーツ振興課に関する事業概要について、スポーツ振興課長が報告した。
- ② WMG2021 関西に関する事業概要について、スポーツ振興課 榊参事が報告した。
- ③ 神戸マラソンに関する事業概要について、スポーツ振興課 北中参事が報告した。
- ④ 体育保健課に関する事業概要について、体育保健課 織邊副課長が報告した。
- ⑤ ユニバーサル推進課に関する事業概要について、ユニバーサル推進課 越智班長が報告した。

(2) 兵庫県「県民スポーツ意識調査」について

事務局より、兵庫県「県民スポーツ意識調査」について、調査方法や質問項目及び選択肢について説明した。その後、各委員から意見を求めた。

■ 委員の主な意見及び事務局の説明

審議事項

<「令和3年度スポーツ振興団体に交付する補助金」について>

【平野委員】

- 「ひょうご女性スポーツの会」の研修会で託児所の設置等、子どもを預ける人件費も補助の対象となるか。

【スポーツ振興課】

- できる限り多くの方に参加してもらいたいため、託児所設置等については補助対象としている。

【鶴木委員】

- 成果をどのように図っていくのか。どのような方向に進んで行くのか。皆さんと共有しながら、事業を進めていくことが大事。

【倉委員】

- 女性スポーツ人口の増加を図るなら、今後はこれからスポーツをしたい人、育児中の人等、若い世代に繋げていく方策が必要ではないか。

【石角委員】

- 大会入賞選手に「ひょうご女性スポーツの会」からの賞状を渡した。非常に喜んでいて。今後は、今回参加できなかった小学生を含む、全世代に賞状を渡し、勝敗を競う柔道だけでなく、運営面等でも一生携わることができることを小学生たちにアピールしていきたい。

【山口会長】

- 女性スポーツのすそ野を広げる「ネクスト・ジェネレーション」、次世代を育てることは非常に重要。是非継続してもらいたい。

【小林委員】

- 競技力を高めるため、体重コントロールをすることで生理が止まり、骨密度が減り、疲労骨折を発症するなど、女性特有の「障害」を懸念している。選手や指導者対象に研修を開催してはどうか。

報告事項

<ゴールデン・スポーツイヤーズ等のレガシーについて>

【陳委員】

- 「海づくり大会」と「スポーツ」どういう関係があるのか。
大蔵海岸のビーチスポーツと関係しているわけではないのか。

【スポーツ振興課】

- 今現在、何をするのか決まっていない。令和3年度検討していく。

<神戸マラソンについて>

【山口会長】

- 東京マラソンは、今年延期して秋に実施される。3万5千人の規模で行うので一度調査をしてはどうか？

<選手強化事業について>

【鷗木委員】

- コロナ禍で得たオンライン指導等、新しい取組みを支援する事業は無いのか？

【県体協】

- 選抜高校野球で話題になった、動画配信での指導を参考にしながら現在協議している。

【山口会長】

- 今後もウィズコロナが続くので、リアルとバーチャルを融合した指導や開催方法等、いろいろ工夫が必要。また、ITにも強くなっていかないといけない。

【小林委員】

- リモートは、海外で練習している選手も参加できるというメリットもある。コロナ禍で指導方法が変わってきている。その部分を推し進めて欲しい。

<事業開催方法について>

【山口会長】

- 全豪オープンでは、室内施設での観戦はマスク着用を義務化し、屋根が開けばマスクは任意としたが、クラスターは発生しなかった。いろいろ運営方法があるので情報を集めることが重要。

【小林委員】

- 大会等中止にするのは簡単。神戸マラソンもしかり、今できる環境で、打開しポジティブに進めて欲しい。

<事前合宿について>

【山口会長】

- 中止というのは簡単。「どうしたらできるのか」という発想が重要である。現在受け入れている国と受入れ先の情報が知りたい。

【スポーツ振興課】

- 先日フランスとネット会議を開き、具体的な内容まで打ち合わせた。現在実施の方向で進めている。また、交流事業を辞退する国、自治体が出てくるかもしれないが、予定どおり進めている。

【山口会長】

- 合宿誘致は、相手国との密なコミュニケーションが重要である。交流事業で地元の地域住民、子どもたちと直接コミュニケーションをとることができない場合は、オンラインで実施してはどうか。その際にどのようなオンラインをするのか、情報を集める必要がある。

<食育の推進について>

【平野委員】

- 食育の推進の中にSDGs、持続可能開発目標の観点を取入れた推進計画を立ててもらいたい。食材や地産地消等いろいろな観点が入る。ポストコロナに向けて、給食現場の調査や子どもたちのメンタルに関する調査をしてはどうか。

【体育保健課】

- 令和3年度高等学校でどのような食育を推進していくのか専門家会議で検討していく。その中でご意見を参考とし進めていく。調査については、現在給食は「学校の新しい生活様式のマニュアル」に基づき実施している。しかし、各現場の意見も聞きながら感染拡大防止に努めていきたいので、意見を参考にさせてもらいたい。

<オリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業について>

【増田委員】

- 教育推進校15校のうちパラリンピックの選手は、どのくらい派遣しているのか。兵庫県内には約100名程度の国際大会参加選手がいるので今後活用してもらいたい。

【体育保健課】

- パラリンピック選手を教育推進校15校の8割程度派遣している実績がある。国際大会参加選手のデータについては、今後参考にしていく。

<部活動指導員配置事業について>

【吉矢委員】

- 外部指導者に対し安全面や事故予防に関する情報提供や研修をしていただきたい。また、システムを構築しながら事業を進めてもらいたい。

<「体力アップひょうご」サポート事業の実施について>

【鶴木委員】

- 本県の子どもの体力は、どのように評価されているのか。体力向上が期待できる8市町の「期待できる」というのは、どういうことなのか？

【体育保健課】

- 全国的に目標値の昭和60年ころより、総合的に低い状況であるが、近年は横ばいの状況である。本県においても同様の傾向である。「期待できる」とは、体力測定の数値が低い学校である。この事業は、数値が低い学校に、手立てをしていく施策である。

<中学校運動部活動の地域移行検討事業について>

【石角委員】

- 神戸市は「拠点校」が進んでいる。柔道では5校程度ある。次年度県で拠点校になる播磨町・西宮市二つの地域にも神戸市のように進めてもらいたい。
郡部において、指導者がいなくて部活が減ってきていると聞いている。なかなか目が行き届かない地域においても前に進めてもらいたい。

【体育保健課】

- 学校の教育活動としての部活と学校から外しての部活動、これを両輪で進めていく中で、完全に地域に移行できるものなのか、我々は研究していこうと思っている。

<兵庫県「県民スポーツ意識調査」について>

【石角委員】

- Q36「女性スポーツの普及について」男性も記入するならば、選択肢に「その他」をいれれば、ここの選択肢以外の何かが出てくるのではないか。

【スポーツ振興課】

- 検討する。

【平野委員】

- 回答者属性で「産休中である」とか、分かるようになっているのか？
分析を掛けたときに、丁寧なソートをかけられるようになっていることを希望する。

【スポーツ振興課】

- 業者によってモニターの登録情報は違う。検討する。

<全体を通じて>

【恒木委員】

- スポーツをしている人口が減ってきている。「スポーツクラブ 21 ひょうご」の会議でもその対策の意見は出てこない。
アスリートばかり目を向けるのではなく、スポーツの底辺を支える地域スポーツ「いつでも・どこでも・誰でも」がスポーツを楽しむことができる事業のボリュームアップを図っていかないといけない時期ではないか。

【山口会長】

- 現行の兵庫県スポーツ推進計画が、令和4年3月で終了する。来年度新しい推進計画を策定する。スポーツクラブ 21 ひょうごの会員数の減少や市町スポーツ大会等参加者数の減少について、検討する。

8 閉会あいさつ 田中スポーツ振興課長

9 閉 会

【署名委員】

スポーツ振興課

○ 「スポーツ立県ひょうご」の実現

全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化を確立することにより、一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現を目指す。

1 生涯スポーツの推進

地域におけるスポーツ活動を活性化し、誰もが参加できる生涯スポーツ大会や「スポーツクラブ 21 ひょうご」の充実及びスポーツ実施者の更なる増加を図るとともに、県民の自主的・自発的なスポーツ活動に係る諸条件の整備・支援に努め、生涯スポーツを推進する。

(1) 「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業 (7,832千円)

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」開催に向け、県民誰もが参加できる「関西マスターズスポーツフェスティバル」等を引き続き開催し、生涯スポーツのすそ野を広げる。

① 総合開会式の実施

- 開催日：令和3年6月19日（土）
- 場 所：県民会館
- 参加者：45名

② 競技別大会の開催

- 実施時期：令和3年4月～令和4年3月
- 場 所：県立三木総合防災公園ほか県内各地で開催
- 競 技：野球大会等 計64競技（予定）

③ 「ひょうご de スポーツ推進月間」の展開

- 街頭キャンペーンの実施
実施時期：令和3年10月（予定）
場 所：県下10箇所
- スポーツ推進フォーラムの開催
開催日：令和3年10月17日（日）
場 所：尼崎総合文化センター（あましんアルカイックホール・オクト）

④ 生涯スポーツ指導者等の充実

- 生涯スポーツ指導者地区別研究会
実施時期：令和3年6月～12月
対 象 者：スポーツ推進委員、スポーツクラブ 21 ひょうご関係者等
- スポーツ推進委員中央研究協議会
開催日：令和3年10月17日（日）
場 所：尼崎総合文化センター（あましんアルカイックホール・オクト）

スポーツ振興課

○ 「スポーツ立県ひょうご」の実現

全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化を確立することにより、一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現を目指す。

1 生涯スポーツの推進

地域におけるスポーツ活動を活性化し、誰もが参加できる生涯スポーツ大会や「スポーツクラブ 21 ひょうご」の充実及びスポーツ実施者の更なる増加を図るとともに、県民の自主的・自発的なスポーツ活動に係る諸条件の整備・支援に努め、生涯スポーツを推進する。

(1) 「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業 (7,832 千円)

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」開催に向け、県民誰もが参加できる「関西マスターズスポーツフェスティバル」等を引き続き開催し、生涯スポーツのすそ野を広げる。

① 総合開会式の実施

- 開催日：令和3年6月19日(土)
- 場 所：県民会館
- 参加者：45名

② 競技別大会の開催

- 実施時期：令和3年4月～令和4年3月
- 場 所：県立三木総合防災公園ほか県内各地で開催
- 競 技：野球大会等 計64競技(予定)

③ 「ひょうご de スポーツ推進月間」の展開

- 街頭キャンペーンの実施
実施時期：令和3年10月(予定)
場 所：県下10箇所
- スポーツ推進フォーラムの開催
開催日：令和3年10月17日(日)
場 所：尼崎総合文化センター(あましんアルカイックホール・オクト)

④ 生涯スポーツ指導者等の充実

- 生涯スポーツ指導者地区別研究会
実施時期：令和3年6月～12月
対 象 者：スポーツ推進委員、スポーツクラブ21ひょうご関係者等
- スポーツ推進委員中央研究協議会
開催日：令和3年10月17日(日)
場 所：尼崎総合文化センター(あましんアルカイックホール・オクト)

(2) 兵庫県スポーツ推進審議会 (260千円)

県民のスポーツ振興に関する重要事項について調査審議する。

実施時期：令和3年7月27日(火) 10:30~12:00 県民会館「福」

令和3年12月(予定)、令和4年3月(予定)

(3) 第2期兵庫県スポーツ推進計画の策定(スポーツ振興課)【新】 1,000千円

現行計画の期間が令和4年3月に満了することから、ゴールデン・スポーツイヤーズで育まれるレガシーの継承や、国のスポーツ基本計画等を踏まえ、新たに計画を策定する。

① 計画策定委員会の開催

- ・ 構成 7人(学識経験者、行政関係者、障害者スポーツ団体等)
- ・ 開催回数 4回
- ・ 協議内容 計画原案の内容検討、作成等

② 専門部会(生涯スポーツ部、競技スポーツ部、障害者スポーツ部)の開催

- ・ 構成 15人(学識経験者、スポーツ関係団体等)
- ・ 開催回数 4回/部会
- ・ 協議内容 「スポーツクラブ21ひょうご」(SC21)を含めた地域スポーツの活性化、県民意識調査等を踏まえた各専門部会における計画に関する方向性の検証等

(4) 新 明石海峡大橋ブリッジラン(仮称)の開催【新】 10,000千円

ゴールデン・スポーツイヤーズのレガシーを継承するため、令和4年度にWMG2021関西及び明石市で「第41回全国豊かな海づくり大会」が開催されることから、明石海峡大橋を会場とした、ポストコロナにおける兵庫の新しい魅力となるファンランを開催する。

- ・ 開催時期 令和4年秋頃(10月下旬~11月上旬)
- ・ コース 約10km
スタート(県立淡路島公園大きな芝生広場)~明石海峡大橋
~フィニッシュ(高速舞子バスストップ付近)
- ・ 募集定員 5,000人(予定)

(5) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業(2,927千円)

生涯スポーツの核となる「スポーツクラブ21ひょうご」について、全県スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等を図るなど自主自立に向けた取組を支援する。

① 推進会議の開催

- 内容 クラブの現状及び課題解決に向けた協議

② 全県スポーツサミットの開催

- 対象 スポーツクラブ21ひょうご会員、各市町行政担当者、各市町体育協会
- 内容 情報交換、事例発表等

③ 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト

だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりに向け、各地区において「スポーツクラブ21ひょうご」が取り組む。

- 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催
- 障害者スポーツと連携したスポーツ教室等の開催
- 親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催

(6) ひょうご・ロシアハバロフスク青少年スポーツ交流事業 (1,778千円)

友好提携40周年を機に、兵庫県とハバロフスク地方とのスポーツ交流を行うことにより、両県交流の更なる発展を図る。

交流期間：令和3年8月（5泊6日）（予定）

内 容：スポーツを通じた国際交流、ロシア文化体験 等

■中止

(7) 兵庫県山の遭難対策協議会 (4千円)

山の遭難の未然防止および救援対策を協議する。

実施時期：令和3年7月9日（金）14:00～16:00 県公館、11月（予定）

(9) ひょうご女性スポーツの会の活動支援 (5,000千円)

女性のスポーツ環境の向上、女性スポーツの人口の増加を目指し、ひょうご女性スポーツの会の活動を支援する。また、競技・生涯スポーツの気運醸成に向け、WMG2021関西への参加を促進する。

- 総会・総合開会式の開催
記念講演、スポーツ界著名人によるシンポジウム等
- 競技別大会の実施
各競技団体による冠称大会への補助
- 研修会の実施
ワールドマスターズゲームズ2021関西への参加促進に向けた競技体験会

(10) ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業 (15,000千円)

ワールドマスターズゲームズ2021関西大会への県民参加促進のため、地域企業及び大学とスポーツクラブ21ひょうご（SC21）との連携チーム設立支援やワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技（団体競技）の新チーム設立支援等を実施

- 企業・大学とSC21の連携強化及びSC21新規会員獲得支援
企業・大学に所属する社会人とSC21による連携チーム設立を支援
 - ・ 補助対象 運動用具等経費（上限200千円）
 - ・ 補助件数 20チーム
- ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の開催競技人口増加に向けた取組
SC21会員が、現在取り組んでいる競技とは別に、新たにワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技（団体競技）に取り組む場合の新たな競技を支援するとともに、現在取り組んでいる競技でのWMG2021関西への参加を支援
 - ・ 補助対象 運動用具等経費（上限：新チーム競技200千円、既存競技100千円）
 - ・ 補助要件 ワールドマスターズゲームズ2021関西への大会参加

- ・補助件数 80チーム（新たな競技30チーム、既存競技50チーム）
- ※新たな競技の設立支援は1クラブにつき、1チームに限る

(11) 地域スポーツ在り方検討委員会

各「SC21」の現状と地域の実情を元に、これからの地域スポーツの在り方を図る協議等を実施

- ・開催回数 2回
- ・出席者 有識者(スポーツ社会学等)、「SC21」関係者、県内スポーツ関係者、民間スポーツクラブ(NPO等)、行政等(予定)

2 競技スポーツの推進

(公財)兵庫県体育協会及び各競技団体と連携して、選手発掘からトップアスリート育成までの系統的な指導体制を構築するとともに、本県の競技力向上に努め、オリンピックや国際大会等で活躍する選手を育成し、県民スポーツの推進に寄与する。

(1) 第2期新兵庫県競技力向上事業（世界にはばたけ兵庫プロジェクト）（225,761千円）

「東京オリンピック・パラリンピック」を契機に、北京五輪・パリ五輪を見据えたトップアスリート層の拡大、ジュニア選手の発掘・育成、若手指導者の資質向上を図るため、選手の発掘からトップアスリートの育成までの系統的な指導体制の構築を目指す。

〔選手強化事業〕

① 未来のスーパーアスリート支援事業

国際大会や全国大会に出場する中高生・大学生等を擁する競技団体に選手強化方策等を提案させ、高い効果が期待できる取組に対して支援を行う。

- スーパーアスリート養成
 - ・事業内容 トップチーム・指導者を招聘しての合宿練習会 等
- 医・科学サポート
 - ・事業内容 フィジカルトレーニング、栄養学の直接指導等
- 能力発掘・育成
 - ・事業内容 競技人口が少なく、中学生から競技に取り組んでもトップを目指すことができる競技を対象に、競技転向型の発掘・育成を実施

② 重点競技強化事業

好成績が期待できる競技を特別強化競技に指定し、重点的に支援するほか、国体競技以外のオリンピック競技に対して支援する。

- 特別強化対象競技（13競技）ウエイトリフティング、テニス、柔道 等
- オリンピック対象強化競技（5競技）自転車女子、ラグビー女子 等

③ 一般強化事業

41競技団体の競技力向上に向けた取組を支援する。

④ 選手サポートプログラム

大学研究機関と連携し、能力トレーニングの開発及び測定を実施する。

⑤ 指導者養成プログラム 等

高い競技実績を誇る国等へ指導者を派遣し、調査・研究を実施する。

⑥ 国民体育大会 団体競技強化プロジェクト

国体競技別総合成績で常時入賞している他府県の強豪チームとの強化試合・合宿や県内練習会を実施し、国体団体競技の強化を図る。

○ 対象競技団体

得点実績や戦績等を鑑み、団体競技において得点が期待できる競技種別

⑦ ふるさと選手活用促進プロジェクト

国体のふるさと制度を活用し、他都道府県に進学または就職した本県ゆかりの有望選手の国体への参加を支援

○ 対象

ふるさと制度が適用される選手で、競技団体から推薦のあった者

○ 対象競技

過去3か年で得点獲得をしている競技

○ 内容

遠方に居住するふるさと選手に対し、本県で行う強化合宿等にかかる経費の一部を補助

[選手育成事業]

① タレント発掘事業等

○ ひょうごジュニアスポーツアカデミー（4年生以上の小学生対象）

・ 大学や関連スポーツ団体との連携による継続した育成、オリンピック選手等を講師とするスポーツ教室の実施等

② 育成・すそ野拡大事業

○ ジュニアスポーツ教室（小・中学生対象）

・ 才能ある選手を発掘・育成するための合同練習会の実施

③ ジュニア層を対象としたトップアスリート等による特別強化事業

将来、国体等で活躍が期待される中学生を対象に、トップアスリート等からの集中的なレッスンによる特別強化を実施

④ 指導者育成・広報等

若手指導者を中央競技団体等が主催する研修へ派遣

(2) 県民体育大会の開催及び国民体育大会への派遣（39,563千円）

名 称	実施時期	場 所	対 象
第75回兵庫県民体育大会	4月～3月	県内	競技種目選手
第76回国民体育大会 近畿ブロック大会	6月19日(土)～12月5日(日)	大阪府他	県代表選手
第76回国民体育大会	9月4日(土)～14日(火) 9月25日(土)～10月5日(火)	三重県	
第77回国民体育大会 冬季大会	スケート競技 1月24日(月)～28日(金) アイスホッケー競技 1月26日(水)～30日(日) スキー競技 2月予定	岐阜県 秋田県	

(3) 兵庫県スポーツ優秀選手賞表彰

オリンピックや世界選手権等の国際大会、また、国内大会等において優秀な成績を取めた本県のスポーツ選手を讃える。

開催時期：令和4年2月（予定）

(4) 東京オリンピック・パラリンピック応援事業（145,931千円）【拡】

県のスポーツ振興や地域の活性化など成果を上げるとともに、その活力を翌年のワールドマスターズゲームズ2021 関西の成功につなげるため、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレー出発式及び事前合宿を実施する。

事前合宿については、フランスの陸上競技や柔道等を実施し、ホストタウンとして交流事業を三木市及び姫路市等とともに行うことで、県民のスポーツに対する理解と関心を深める。

さらに、全国都道府県を回る聖火リレーが兵庫県で2日間（令和3年5月23日と24日）実施され、1日目の23日は豊岡市の六方防災ステーションで、2日目の24日には神戸市の兵庫県庁前において出発式を行うため、その具体的な準備・運営に取り組む。

■ 出発式および聖火リレーの公道での実施は中止し、各実施日における聖火リレーの到着場所であるセレブレーション会場（第1日目姫路市、第2日目丹波篠山市）内において実施

(1) 聖火リレー

ア 担当者会議

(ア) 県実行委員会：県内全市町関係者と有識者等の会議

(イ) 合同連絡会：県・市町関係者の連絡調整

イ 出発式の開催（豊岡市：六方防災ステーション・神戸市：兵庫県庁前）

(ア) 司会者選定

(イ) ステージプログラム運営・進行・進行台本作成

(ウ) 警備・安全管理

(エ) ステージ設営

(オ) 出発式告知横断幕等作成

(2) 事前合宿

ア フランス陸上の国内移動費・宿泊費等を兵庫県が負担

イ フランス柔道の国内移動費・宿泊費等を兵庫県と姫路市で負担

ウ 県立尼崎スポーツの森での水泳事前合宿（ウクライナ等）の施設使用料等を兵庫県が負担 等

(5) スポーツ大会招致事業（「はばタンスポーツ基金」活用事業）（6,000千円）

「はばタンスポーツ基金」を活用した運営費の補助により、国際大会及び全国規模の大会を誘致し、本県の競技力の向上に資するとともに、県民に質の高い競技を観戦する機会を提供する。

3 第10回神戸マラソンの開催

(88,883千円：負担金68,883千円、ふるさとひょうご寄附金：20,000千円)

県民スポーツの振興を図り、震災の復旧・復興における支援への感謝、兵庫・神戸の魅力を国内外に発信するため、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら、感染症対策を最優先に行う大会として神戸市と共同で開催する。

■昨年度に引き続き今年度の実施も見送り、改めて令和4年11月に第10回神戸マラソン開催予定
今年度も、感染防止対策を十分に講じた上で「ランニングイベント」や「オンラインマラソン」等の企画を実施予定

(1) 大会概要

① 期 日

ア ランナー受付・EXPO 令和3年11月19日(金)、20日(土) 神戸国際展示場
イ 大会 令和3年11月21日(日)
9:00～スタート(ウェーブスタート) 16:00終了

② テーマ 「感謝と友情」

キャッチフレーズ：「ありがとう」を、未来へつなごう。

③ 種 目 マラソン(42.195km) (定員：20,000人) 制限時間：7時間

④ コース スタート：神戸市役所前
折り返し：明石海峡大橋の西方(垂水区西舞子1丁目付近)
フィニッシュ：ポートアイランド市民広場付近

⑤ 主 催 兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、 一般財団法人兵庫陸上競技協会

⑥ 共 催 神戸新聞社、朝日新聞社

(2) 第10回大会の取組

日本陸上競技連盟が定める「ロードレース再開についてのガイドランス」等に基づき、感染症対策室の設置や感染症対策マニュアルの策定等を行い、2万人のランナーが安全・安心に走ることができる大会とする。

① 新型コロナウイルス感染症対策を講じた安全・安心な大会運営の推進(新規)

新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ、日本陸上競技連盟が定める「ロードレース再開についてのガイドランス」等を参考に、徹底した新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安全・安心な大会運営を行う。

【主な新型コロナウイルス感染症対策】

- ・医事救護・感染症管理体制の構築
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・ランナー及びすべての関係者の体調管理
- ・手指消毒・服装・換気

・沿道応援の自粛要請

② 挑戦するランナーを支援する取り組み

初挑戦・記録の更新等、自己への挑戦を応援する姿勢を示し、大会全体のモチベーションアップを図る。

ア 出場枠・表彰の設定

(ア) 神戸マラソン応援ランナー枠(400人) (継続)

大会の質向上を目的としたコース改善や国際エリートランナーの招聘等、オンラインワンの都市型マラソン実現に向けた取り組みに賛同し、兵庫県又は神戸市に10万円以上のふるさと納税の寄附者に出走権を進呈

(イ) 連続落選者枠 (1,500人) (新規)

神戸マラソンへの参加意欲がありながら、落選を続けるランナーに救済枠を設け、多くのランナーの参加を促す。

(ウ) その他の特別枠と表彰制度 (継続)

- ・ シード枠 (約400人) : 第9回大会成績上位者の参加促進
- ・ 年代別チャレンジ枠 (2,000人) : 各年代のランナーモチベーションを向上
- ・ キラキラ女子ランナー枠(500人) : 女性の参加促進
- ・ 神戸マラソン初出場枠(2,000人) : 神戸マラソン初挑戦ランナーを応援
- ・ 連続入賞者表彰制度 : 総合・年代別の3年連続入賞者を表彰

イ エリートランナーの招聘 (継続)

(目的) 大会の質と国際的認知度の向上

(内容) 本大会は世界陸連(WA)が認定するワールドアスレティクス・エリートラベルレース(2021年限定:シルバーラベル・ゴールドラベル相当)として実施。

③ 大会の魅力化・ブランド化の推進

新型コロナウイルス感染症対策として人と人との接触機会を減らすため、沿道応援は自粛し各種イベントは中止するが、TV中継やYouTube等により応援する方法を積極的に発信していく。

ア 沿道応援自粛要請に伴う代替事業の実施(横断幕等の設置) (新規)

新型コロナウイルス感染症対策のため沿道応援ができない代わりに、JR高架壁面アートや横断幕の追加作成と、ひまわりのネットアートを作成し、ランナーを応援する。

イ 記念グッズの作成・販売 (新規)

第10回大会限定のグッズを作成し、販売する。

④ 震災復興の教訓と感謝を国内外に発信

震災復興の教訓と感謝を発信するスタートセレモニーは、ランナーの密を避けるために簡素化する。

大会テーマである「感謝と友情」については、著名人や被災地交流に関わる人

等のコメントやメッセージを、新聞・ホームページ等に掲載し、感謝の気持ちを国内外に発信する。

⑤ コロナ禍での再スタートを記念した新しい取り組み（新規）

昨年の大会延期から再び開催できることを記念した取り組みを実施する。

ア 連続落選者枠の設定（再掲）

神戸マラソンへの参加意欲がありながら、落選を続けるランナーに救済枠を設け、多くのランナーの参加を促す。

イ 記念グッズの作成・販売（再掲）

第10回大会限定のグッズを作成し、販売する。

ウ 著名人によるメッセージ配信

体育保健課

○ 体育・スポーツ活動の推進

1 基礎体力づくりの推進

(1) 「体力アップひょうご」サポート事業の実施 (6,191 千円)

「運動プログラム」(DVD)の更なる活用を促進するとともに、運動習慣の定着や新体力テスト測定値の向上を目指して小学校に専門性に優れた指導者(体力アップサポーター)を派遣し、体育授業及び学校体育活動における体育・スポーツ活動を支援し、児童の体力・運動能力の向上を図る。また、県下児童生徒の体力・運動能力等の調査を行い、その実態を把握し、今後の施策の基礎資料を得る。

① 体力アップサポート専門家会議の開催 (年3回)

② 運動習慣定着のための指導者派遣

対 象：小学校 約70校

③ 新体力テスト測定値向上のための指導者派遣

対 象：体力向上が期待できる8市町

④ 「体力アップスクール表彰」の実施

対 象：体力向上に積極的に取り組み、成果を上げた小・中学校10校程度

⑤ 体力・運動能力調査統計事業の実施

対 象：小・中・高校生 約30,000人

実施時期：令和3年5月～7月

2 学校体育の指導

学習指導要領の趣旨の徹底と指導方法の研究を深め、心身ともにたくましく、活力ある生徒を育成するため、年次計画により県立学校を訪問し、学校体育の実態把握と学校指導の充実を図る。

また、各種講習会を開催し、指導力の向上を図る。

(1) 県立学校訪問指導の実施

対 象：約33校

実施時期：令和3年5月～11月

(2) 学校体育に関する講習会、協議会の開催

名 称	実施時期	場 所	対 象
県立学校体育主任会	5月14日	兵庫県民会館	県立学校体育主任
市町組合教育委員会学校体育担当者連絡協議会	5月20日	兵庫県民会館	市町組合教育委員会担当者等
学校体育実技(武道)認定講習会	8月3日～5日	ウイंक武道館	(柔道)
	8月11日～13日	ウイंक武道館	(剣道)
学校体育実技ダンス講習会	8月3日～4日	ウイंक武道館	(ダンス)
学校体育実技指導者講習会	8月23日～24日	神戸常盤アリーナ	幼・小・中・高校保健体育担当教員

(3) 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業

幼稚園教員及び小学校教員を対象にした体育実技講習会を実施し、指導内容及び指

導方法の研修を行い、指導力の向上を図る。

実施時期：令和3年5月～12月

場 所：県内5ブロック単位

(4) 武道・ダンス指導者の養成等指導力の向上 (3,092千円)

中学校学習指導要領を踏まえ、中学校教員を対象にした武道・ダンスの実技講習会を実施し、指導力の更なる向上を図る。

実施時期：令和3年8月上旬～8月中旬

場 所：ウイנק武道館

(5) 第59回県学校体育研究発表大会の開催

学校体育の実践発表を通して、県内各地区、各校種間の交流と連携を図ることにより、教職員の資質向上と体育・保健体育指導の理解を深める。

実施時期：令和4年2月4日

場 所：兵庫県民会館ほか

(6) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業 (5,995千円)

本事業の「教育推進校でのオリンピック・パラリンピック教育」を展開し、学校の実情や実態に応じて、多面的な観点（する・みる・支える・知る）から、主体的にスポーツの価値を深め、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等に取り組み、オリンピック・パラリンピック開催に向けて機運醸成を高めるとともに、今後、その成果を広く情報共有する。

○ 教育推進校の指定

指定校数：15校〔小学校及び中学校から11校、県立高等学校から4校〕

指定期間：指定のあった日から令和4年1月31日まで

○ 事業経費について

予算の範囲内（13万円を予定）で事業に要する経費を委託費として支出する。

（諸謝金※、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額）

※ 諸謝金の上限：100,000円

兵庫県ゆかりのオリンピック・パラリンピアンを中心に上記金額を上限とする。

3 運動部活動等への支援

運動部活動活性化推進事業 (47,478千円)

(1) 県立学校部活動指導員配置事業 (14,174千円)

県立学校の部活動指導を担当する教員の業務負担軽減や、専門的な技術指導を受けられない生徒への指導のため、部活動の指導や大会引率等が単独でできる部活動指導員を配置する。

○ 派遣校数：県立学校55校

(2) 中学校部活動指導員配置事業 (33,304 千円)

適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている市町組合教育委員会を対象に、令和2年度より会計年度任用職員となる部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に該当する者）の配置に係る経費の一部を補助することで、顧問の支援を行うとともに、公立中学校における指導体制の充実を推進し、部活動の質的な向上を図る。

【部活動指導員の配置】

○ 補助要件

- ・事業主体は、スポーツ庁策定「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を遵守すること。
- ・事業主体は、「地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進めるための計画」の策定に向けた検討組織を設置し、その後、同計画を策定すること。また、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる体制を整える取組には、部活動数の適正化（複数の学校による合同部活動の実施や学校規模等に伴う部活動数の減等の取組）等も含む。
- ・当該学校において、上記のガイドラインに沿った部活動運営がなされること。
- ・当該学校における教員の勤務時間（特に部活動指導従事時間）を客観的に把握して報告すること。

○ 補助対象経費

- ・報酬等の補助上限額は1,600円/時間（社会保険料（本人負担分に限る。）を含む。）とする。
- ・交通費は通勤手当相当が対象であり、大会引率等に係る出張旅費等は対象外とする。なお、交通費を補助対象とする場合、事業主体が人材バンクの立ち上げまたは計画作成を実施し、かつ交通手段は車のみ対象で真に車での通勤がやむ得ない場合に限るものとする。

○ 補助割合

- ・国1/3、県1/3、市町1/3
- ・補助金交付要綱に基づいて、国の補助金認定額を補助する。

○ 補助期間

- ・上記のガイドラインの趣旨を定着させるため、同一の学校において同一の部活動への部活動指導員の配置が、5年以内のものに限る。

(3) 中学校運動部活動の地域移行検討事業 (2,819 千円) 【新】

国の「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」の方針を踏まえ、令和5年度から休日の部活動の段階的な地域移行を円滑に行うため、部活動指導等に意欲を有する地域人材の協力を得て、拠点校（地域）における実践研究を実施し、地域ごとのさまざまな成果や課題を検証するとともに、部活動における教師の負担軽減に加え、生徒にとって望ましい持続可能な運動部活動の実現を図る。

① 拠点校（地域）でのモデル事業

配置市町：2市町（都市部、郡部各1校）

補助経費：1市町 111万円を予定（報償費・旅費等）

業務内容：設置市町の指導のもと、運営主体となる団体が、複数の運動部活動の休日活動を地域指導者が指導する体制を整える。

② 運動部活動専門家会議の開催

内 容：拠点校（地域）の検証、アンケート調査の実施、事業まとめ等を検討する。

回 数：年3回

構 成 員：17名程度（学識経験者、拠点校（地域）関係者等）

(3) 県立高等学校運動部指導者表彰

運動部活動の強化と活性化を図るため、運動部の振興発展に功績が顕著な指導者を表彰する。

対 象：全国高等学校総合体育大会や全国高等学校選抜大会等に初出場及び著しく功績のあった運動部活動の指導者

実施時期：令和4年3月

(4) 総合体育大会の開催支援（5,517千円）

各種大会を援助し、スポーツの振興と競技力の向上を図る。

【大会等一覧】

名 称	実施時期	場 所
県中学校総合体育大会	7月21日～7月30日	東播地区他
県高等学校総合体育大会	6月4日～6月6日	県内各地
全国中学校体育大会	8月17日～8月25日	関東ブロック
全国高等学校総合体育大会	7月24日～8月24日	北信越ブロック他

(5) 近畿中学校総合体育大会兵庫県開催事業（4,500千円）

令和3年度に本県で開催される近畿中学校総合体育大会を開催する。

○ 近畿中学校総合体育大会の開催

競技種目：20競技

競技日程：令和3年8月～令和4年1月

○ 児童生徒等の健康教育・安全教育の充実

1. 保健管理・保健指導の推進

社会環境の変化に伴い、健康問題等も多様化し、その対応には一層の配慮が必要とされる。そこで、学校保健安全法に基づく幼児・児童生徒の保健管理や保健指導を徹底させるため、保健部長・養護教諭・学校医等を対象とした研修会・講習会を開催し、その資質や指導力の向上に努める。

一方、児童生徒の健康の保持増進を図るため、健康診断を実施し、実態把握に努め、適正な管理・指導を推進する。

(1) 県立学校訪問指導の実施

対 象：約 30 校

実施時期：令和 3 年 5 月～11 月

目 的：学校保健の実態を把握し、保健安全指導の充実を図る。

(2) 保健に関する講習会、研修会等の開催

名 称	実施時期	場 所	対 象
兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会	11月11日	姫路市民会館	小・中・高・特別支援学校保健主事・学校保健担当者
兵庫県学校保健研究協議大会	11月18日	南あわじ市湊地区公民館	学校保健・食育担当者
養護教諭研修会	4月～3月	県内各地	小・中・高・特別支援学校養護教諭
薬物乱用防止教室講習会	7月～12月	神戸市（予定）	小・中・高・特別支援学校薬物乱用防止教育担当者等
性に関する指導・エイズ教育研修会	10月5日	兵庫県民会館 けんみんホール	小・中・高・特別支援学校性教育担当者等
健康教育研修会	10月5日	兵庫県民会館 けんみんホール	小・中・高・特別支援学校管理職、教職員等
学校歯科保健研修会	9月～3月	県内3会場	学校歯科医
学校医研修会	9月～3月	県内3会場	学校医・学校保健担当者

(3) 児童生徒等の健康診断の実施 (57,077 千円)

児童生徒等の健康の保持増進を図るため、各学校において毎年4月～6月の間に実施する。

(4) 学校健康教育強化事業 (1,155 千円)

① 学校における現代的な健康問題の解決

アレルギー疾患や心の問題などの児童生徒の心身の健康課題に対応するため、教職員の資質向上と支援体制の整備を図る。

- ・ 学校におけるアレルギー疾患対応マニュアルの周知徹底 等

② 薬物乱用防止教育の推進

学校における薬物乱用防止の教育を推進するため、講師となる教職員等の資質向上を図るとともに、全ての県立学校で薬物乱用防止教室を実施する。

- ・ 薬物乱用防止教室の実施
内 容：薬物乱用の実態や学校における薬物乱用防止教育 等

③ スクールヘルスリーダーの派遣

心身の健康問題について、特別な配慮や医療機関との連携を必要とする子どもの増加に対応するため、経験豊かな退職養護教諭を「スクールヘルスリーダー」として学校へ派遣する。

- ・ スクールヘルスリーダー（退職養護教諭）の派遣
派遣人数：7人（希望する県立学校、小・中学校）
内 容：保健室登校など個別対応が求められる子どもへの対応方法等の助言や関係機関等とのコーディネート 等
- ・ スクールヘルスリーダー協議会の開催（年2回）

(5) がん教育総合支援事業（1,000千円）

学校教育全体の中でがん教育を推進するため、今後のがん教育のあり方について検討するとともに、がん教育の推進体制の構築を図る。

① がん教育に関する協議会の開催

- 構 成：学識経験者、医師会代表、学校保健会関係者、県行政関係者
- 内 容：がん教育の計画及び指導、モデル校の取組検証及び次年度計画への反映

② 学校保健関係者・外部講師に対する研修会の開催

③ モデル校の設置

- 対 象：6校（小・中・高等学校各2校）
- 内 容：専門家等による講演会、講演のための事前授業、生徒意識調査等

2 安全教育の推進

交通安全、防犯等に関する指導力の向上を図るとともに、校舎内外の施設・設備・通学路等の安全点検を徹底し、学校管理下における事故防止に努める。

(1) 学校安全総合支援事業（2,997千円）

児童生徒に安全に対する知識や能力を身につけさせるため、安全教育の充実や、防犯・交通安全などの学校安全管理体制の構築を図る。

① 学校安全推進のための取組の支援

- 実施箇所：市町立小・中・特別支援学校3校及び県立学校3校
- 内 容：学校安全に関する科学技術等を活用した取組を支援
学校安全への専門的指導・助言を行うアドバイザーの派遣支援 等

② 研究成果発表会の開催

- 実施回数：各推進校1回
- 内 容：学校安全推進に関わる取組の成果発表

③ 学校安全対策合同会議の開催（年2回）

- 内 容：学校安全推進校の取組を県下へ情報共有し、意見交換・協議 等

④ 学校安全教室講習会の開催（年2回）

- 内 容：通学路を含む学校での防犯・交通安全・防災への意識向上

3 学校における食育の推進と学校給食の普及充実

学校教育活動全体で取り組む食育を実践するため、「学校における食育実践プログラム（改訂版）」を基本に「食育ハンドブック」や「ひょうごの食べ物資料集」等を活用し、食育を推進する方向性や手法、具体例を示すための研修会を開催するなど、県学校給食・食育支援センター等とも連携しながら、全ての学校でのより充実した食育の推進を図る。

また、食事内容の多様化と望ましい食習慣の形成に配慮した学校給食の充実に努める。

(1) 学校教育活動全体で行う食育の推進（683千円）

① 食育実践推進に関する有識者会議の設置

教育活動全体を通じて行う食育実践方法を検討するとともに、その周知を図る。

② 学校給食衛生管理推進研修事業

学校における食育の「生きた教材」としての学校給食を充実させるため、学校給食調理従事者及び栄養教諭等の資質向上を目的とした研修会を実施する。

実施時期：令和3年7～8月

場 所：阪神/丹波地区・播磨東地区・播磨西地区・但馬地区・淡路地区

③ 高等学校における食育推進委員会の設置

・食育推進のための事例研究と調査検証（年2回）

・推進研修会（年1回）

(2) 栄養教諭実務研修会の開催

実施時期：令和3年11月

場 所：神戸市

(3) 学校給食の指導及び調査

学校給食の実態を把握するとともに、学校給食の充実に努める。

学校給食施設の衛生管理等に関する状況調査を行うとともに、衛生管理の徹底が図られるよう改善指導を行う。（文部科学省「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」）

(4) 県学校給食・食育支援センター（県体育協会）との連携

学校給食の普及充実及び、食育推進に関する事業の連携を行う。

(5) 米飯給食・地場産物活用の推進

週当たりの米飯回数において、全ての市町が3回以上となることを目標に米飯給食を推進するとともに、学校給食における地場産物の活用を推進する。

○ 県立学校体育施設開放の充実

地域のスポーツ・レクリエーション活動の場として県立学校の体育施設の開放を行う。

【学校体育施設開放予定校】

R3.1.28 現在

市 町 名	学 校 名	市 町 名	学 校 名
神 戸 市	東灘影戸庫台北北陵磨子谷北丘塚業業覚別別	小 野 市	小 野 市
	御神兵神神星北舞伊伊須神兵神神神視西	三 木 市	三 木 市
	戸 鈴 蘭 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特	加 東 市	加 東 市
	神 戸 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特	加 西 市	北 播 磨 農 業 協 業 北
	神 戸 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特	西 脇 市	西 脇 市
	神 戸 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特	多 可 町	多 可 町
	神 戸 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特	姫 路 市	姫 路 市
	神 戸 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特		姫 路 市
	神 戸 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特		姫 路 市
	神 戸 須 川 谷 が 高 工 商 聴 特 特		姫 路 市
尼 崎 市	尼 崎 市	神 河 町	神 河 町
	尼 崎 市	福 崎 町	福 崎 町
西 宮 市	西 宮 市	太 子 町	太 子 町
	西 宮 市	た つ の 市	た つ の 市
	西 宮 市	相 生 市	相 生 市
	西 宮 市	赤 穂 市	赤 穂 市
芦 屋 市	芦 屋 市	上 郡 町	上 郡 町
伊 丹 市	伊 丹 市	宍 粟 市	宍 粟 市
	伊 丹 市	佐 用 町	佐 用 町
宝 塚 市	宝 塚 市	豊 岡 市	豊 岡 市
	宝 塚 市		豊 岡 市
川 西 市	川 西 市	朝 来 市	朝 来 市
	川 西 市		朝 来 市
三 田 市	三 田 市	養 父 市	養 父 市
	三 田 市	香 美 町	香 美 町
猪 名 川 町	猪 名 川 町	新 温 泉 町	新 温 泉 町
明 石 市	明 石 市	丹 波 篠 山 市	丹 波 篠 山 市
	明 石 市		丹 波 篠 山 市
加 古 川 市	加 古 川 市	丹 波 市	丹 波 市
	加 古 川 市		丹 波 市
高 砂 市	高 砂 市	洲 本 市	洲 本 市
	高 砂 市		洲 本 市
稲 美 町	稲 美 町	淡 路 市	淡 路 市
	稲 美 町	南 あ わ じ 市	南 あ わ じ 市
播 磨 町	播 磨 町	計	131校

○ 体育施設の整備及び管理運営（645, 660 千円）

青少年をはじめ広く県民の心身の健全な発達と健康で文化的な生活の向上に寄与するため、県民の体力づくりの場として、手軽に利用できる健康増進のための施設を運営し、その整備を図る。

また、市町における体育施設の整備促進を図るため、国の学校施設環境改善交付金の調整を行う。

（参考）所管施設一覧表

名称	所在地 (電話)	施設の概要	宿泊定員	休館日	指定管理者 (指定管理期間)
県立総合体育館	西宮市鳴尾浜1-16-8 (0798-43-1143)	大・中・小体育室、格技室、トレーニング室、宿泊室、研修室、ランニングデッキ	人 400	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	ひょうごスポーツ ライフグループ (R2～6)
県立文化体育館 (神戸常盤アリーナ)	神戸市長田区蓮池町 1-1 (078-631-1701)	多目的ホール、小ホール、 研修室・会議室、トレー ニング室、プール、体育室	—	年末年始、 第1月曜休館	兵庫県立文化体育館 ファシリティ共同体 (R3～7) 【ネーミングライツ 実施施設】 学校法人玉田学園 (R2～4)
県立海洋体育館	芦屋市浜風町30-2 (0797-32-2255)	管理棟、艇庫(2)、陸置 場、貸出用ヨット・カ ヌー・ボート	—	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	(公財)兵庫県体育協会 (R2～6)
県立円山川公苑	豊岡市小島1163 (0796-28-3085)	美術館、会議室、プール兼 スケート場、貸出用ポー ト、芝生広場	—	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	兵庫県体育協会 円山川公苑グループ (R3～7)
県立奥猪名健康の郷	川辺郡猪名川町杉生 字奥山1-22 (072-769-0485)	管理棟、体育館、ロッジ (5)、テニスコート(2)、 フィールドアスレチック、 イベント広場	182	年中無休	奥猪名みらい 創造プロジェクト (R3～7)
県立武道館	姫路市西延末504 (079-292-8210)	第1道場、第2道場、展 示・情報コーナー、トレー ニングルーム、研修室	—	年末年始、 月曜休館 (繁忙期は開館)	兵庫県体育協会 武道館グループ (R3～7)
県立兔和野高原 野外教育センター	美方郡香美町村岡区 宿791-1 (0796-94-0211)	管理棟、宿泊棟(184人定 員)、体育館、食堂・浴室棟、 野外学習棟、運動広場、キャ ンプ場(第1～第4) 木の殿堂、自然とのふれあ いの森	644	年末年始休館 (木の殿堂は 月曜休館)	香美町 (R1～R3)
県立弓道場	明石市明石公園1-27 (078-913-0501)	近的10人立・遠的6人立射 場兼管理棟、あづち、矢取 道	—	年末年始、 月曜休館	(公財)兵庫県体育協会 (R3～7)
県立神戸西テニスコート	神戸市西区玉津町森 友7-1 (078-924-4544)	テニスコート(7)、クラブ ハウス	—	年末年始、 第1火曜休館	(株)ITC (R3～7)

※指定管理期間がR3～の施設の指定管理者については、候補者として選定した段階

WMG2021 推進課

○ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西

「スポーツ・フォー・ライフ（人生を豊かにするスポーツ）」の理念のもと、一人ひとりの挑戦と多様な交流の和をつなげ、地域の独自性や日本の伝統・文化を世界に発信し、次世代に夢を送る生涯スポーツの祭典を創出する。

(1) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催準備 (88,755 千円) 【拡】

1年延期となった令和4（2022）年5月の大会開催に向け、WMG2021 関西大会の更なる機運醸成と参加者獲得を目的とした取組を行う。また（公財）WMG2021 関西組織委員会等と連携し、円滑な大会運営を行うための具体的な準備・運営に取り組む。

①大会運営

実行委員会等各種会議の開催

②競技運営

ア クレー射撃会場の設営

岡山市で開催するクレー射撃競技の現地事務所を開設し、大会運営に向けて岡山県・市をはじめ、地元警察、消防等の関係機関と協議・調整

イ リハーサル大会の実施

兵庫県開催競技団体と開催市町に係る国際大会としての運営ノウハウ取得及びコロナ対策の検証を目的に、海外選手や障がい者も参加するリハーサル大会を開催

■緊急事態宣言を受け、5月に予定していた1年前イベントの開催及び神戸まつりでのPRは中止。200日前に合わせた節目イベントでは大会アンバサダーによるトークショーやスポーツ体験会をデュオこうべで実施予定

ウ ボランティアセンターの運営

県実行委員会が開設するボランティアセンターで、大会運営を支えるボランティアの募集、配置計画の作成及び業務別研修等を実施

【参考】

5月13日からエントリー再開

エントリー者数（6/21現在）15,533人（国内:13,771人、海外:1,762人）

③広報

ア 節目イベント及びPRイベントの実施

大会開催の1年前（2021年5月）及び200日前（2021年10月）に合わせた節目イベントを開催するほか、神戸まつりでのパレード出演やPRブース出展など、WMGの広報と参加促進活動を実施するとともに、1年前イベントに併せて関西大会のPRイベントや開催競技の体験会等を実施

■ 5～6月に予定していたリハーサル大会は1競技（水泳（アーティスティックスイミング））を開催、4競技（テコンドー、カヌー（ポロ）、バレーボール（ビーチ）、フラッグフットボール）は秋以降に延期

イ ホームページ（HP）等による広報

HPの保守、改修（大会映像発信、ボランティア募集、観光事業、競技結果）及びSNSの管理及び発信

ウ 県外参加者の参加促進

兵庫県開催の各競技団体からWMG2021 関西開催府県以外の各都道府県競技団体に対して大会PRを依頼するとともに、兵庫県海外事務所からも情報発信し本県開催競技への国内外からの参加を促進

ユニバーサル推進課

1 障害者のスポーツ活動等の推進

障害者スポーツの振興

兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の実施等により、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者の社会参加と県民の障害者への理解を促進する。

(1) 第15回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催

(5,023千円)

＜令和3年度開催計画＞

開催日	競技	対象	会場	
5月1日	陸上競技、フライングディスク	車いす	エバー記念競技場	神戸市須磨区
5月14日	バレーボール	精	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区
5月16日	水泳	身・知	三木山総合公園屋内プール	三木市
5月21日	卓球	精	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区
5月22日	卓球	身・知	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区
5月23日	ボウリング	知	神戸六甲ホール	神戸市灘区
5月29日 (土)	陸上競技	身・知	県立三木総合防災公園	三木市
	フライングディスク	身・知・精	県立三木総合防災公園	三木市
	ソフトボール	知	県立三木総合防災公園	三木市
	サッカー	知	県立三木総合防災公園	三木市
5月30日 (日)	バスケットボール	知	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区
	バレーボール	知	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区
6月4日	サウンドテーブルテニス	視	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区
6月5日	ポッチャ	身	県立障害者スポーツ交流館	神戸市西区

※知的障害者の部（全競技）は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

※バレーボール（精神障害者）は、申込団体1チームのため中止。

(2) 県立障害者スポーツ交流館等の運営

(33,809千円)

障害者スポーツの振興拠点として、「県立障害者スポーツ交流館」及び「ふれあいスポーツ交流館」を運営する。

(ア) 県立障害者スポーツ交流館

＜設置場所＞ 県立総合リハビリテーションセンター内

＜施設内容＞ 体育室（バスケットコート2面）、トレーニングルーム
更衣室、屋内駐車場

(イ) ふれあいスポーツ交流館

＜設置場所＞ 県立西播磨総合リハビリテーションセンター内

＜施設内容＞ 体育室、温水プール、トレーニングルーム、更衣室

(3) 第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」への選手派遣・育成

(15,802千円)

三重県で開催される第21回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」に兵庫県選手団を派遣するとともに、派遣選手の競技力向上のため、育成強化を図る。

大会期間 令和3年10月23日(土)～25日(月) 3日間

会 場 スポーツの杜伊勢(三重県伊勢市)ほか

派遣人数 約170人(予定) 選手 約100人/コーチ・介護人 約70人

(4) 第33回全国車いすマラソン大会の開催

(3,944千円)

車いすマラソンを通じて、体力の維持増進、社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を深める。

<開催日> 令和3年9月26日(日)

<開催場所> 篠山城跡マラソンコース

<委託先> 公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

(5) 「はばタンスポーツ基金」事業の実施

(2,100千円)

のじぎく兵庫国体・のじぎく兵庫大会を記念して造成された「はばタンスポーツ基金」の運用収入を活用し、競技別全国大会等への派遣及び競技団体設立等の支援を行う「はばタン障害者スポーツ振興事業」を実施する。

<実績> 25件(令和2年度)

(6) 「スペシャルオリンピックス支援・ひょうごトーチラン」の実施

(500千円)

スペシャルオリンピックス活動への理解促進と、学生ボランティア等の障害者支援のための人材育成、全国大会に兵庫県から出場するアスリートの応援等を目的として、トーチランの開催を支援する。

(7) 「障害者スポーツ推進プロジェクト」の実施

(37,200千円)

2021年に開催されるワールドマスターズゲームズ2021関西、東京2020パラリンピック競技大会に向け、障害者スポーツの普及啓発、スポーツを通じた障害のある方の社会参加を促進する。

(ア) ワールドマスターズ・パラリンピック推進事業

a 参加型プレイベントの開催

しあわせの村スポーツフェスティバル、ワールドマスターズ開催記念スポーツ競技大会の実施

b 一般スポーツ団体との参画と交流

ワールドマスターズにおける障害者の受入体制機運の醸成のため、一般スポーツ競技団体選手と障害者アスリートの合同練習会・記録会等の開催

c 障害者スポーツ種目の拡大

ワールドマスターズでの障害者が参加可能な種目の拡大

d 障害者アスリートへの支援

記録会、競技会等の開催、障害者アスリートマルチサポート事業、義肢装具士の配置

- e 障害者スポーツ出前講座の実施
- (イ) 東京パラリンピック準備事業
 - a 県パラリンピック聖火リレー実行委員会の設置
採火式、聖火ビジット、出立式等の日程・内容検討
- (ウ) 障害者スポーツ推進拠点整備事業
 - a 体育館等バリアフリー化整備事業
民間団体等の既存の体育施設を障害者スポーツ団体に開放する際に必要となる手すり・スロープ等を整備
 - b 障害者スポーツ推進拠点支援員の設置
競技指導・助言、利用についての各種事務手続き

障害者の「ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021 関西」参加促進事業の実施

- (ア) 特例子会社向けWMG2021関西普及出前講座
県内の特例子会社の従業員(障害者)に対して、障害者スポーツの出前講座を実施
- (イ) WMG2021関西開催記念障害者スポーツ体験イベント
障害者トップアスリート指導の下、複数種目を体験できる障害者スポーツイベントを実施
- (ウ) 障害者スポーツ競技団体向けWMG2021関西参加促進支援
障害者スポーツ競技団体等に対して、WMG2021 関西大会の関連スポーツイベント開催等に要する費用を補助
- (エ) WMG2021関西(障害者部門)参加申込者向け出場準備支援
障害者手帳を有する WMG2021 関西大会参加申込者に対し、競技力向上に向けた活動を支援

(8) 障害者のワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業(15,120千円)

障害者部門が設置されるWMG2021関西大会への障害者の参加促進に向けた取組

- ①特例子会社向けWMG2021関西普及出前講座
県内の特例子会社従業員(障害者)に対して、障害者スポーツの出前講座を実施
- ②WMG2021関西開催記念障害者スポーツ体験イベント
障害者トップアスリートの指導の下、複数種目を体験できるイベントを実施
- ③障害者スポーツ競技団体等向け WMG2021 関西参加促進支援
障害者スポーツ競技団体等に対して、WMG2021 関西大会の関連スポーツイベント開催等に要する費用を助成
- ④障害者手帳を有する WMG2021 関西参加申込者向け出場準備支援
障害者手帳を有する WMG2021 関西参加申込者に対して、大会への参加に向けた強化活動を支援

(9) 東京パラリンピック応援事業の実施 (38,375 千円(繰越明許費))

県の障害者スポーツ振興や地域の活性化など成果を上げるとともに、その活力を翌年の「神戸 2021 世界パラ陸上」の成功につなげるため、フランスパラ陸上チームの東京パラリンピック事前合宿を実施する。

ア フランスパラ陸上事前合宿支援事業

事前合宿が内定しているフランスパラ陸上競技を受け入れ、共同ホストタウンである三木市と協力して交流事業を実施する。

期 間 令和 3 年 8 月 15 日 (日) から 23 日 (月) までの 9 日間

合 宿 地 県立三木総合防災公園 (宿泊: 西神オリエンタルホテル)

想定人数 40 人 (内訳: 選手 25 人 フランスハンディスポーツ連盟スタッフ 15 人)

費用負担 国内移動費・宿泊費・練習用施設使用料・通訳者費用等

イ パラリンピック聖火フェスティバル

県内各市町が独自の手法で採火し、その後、公共施設・集客施設で展示した火を集め、県内で一つの火とする「集火式」と、その火を開催都市東京に送り出す「出立式」との一連のセレモニーを行う。

場 所 神戸総合運動公園陸上競技場

内 容 第一部 2022 年世界パラ陸上競技選手権大会記念ひょうごパラスポーツ体験会

第二部 東京 2020 パラリンピック「兵庫県聖火フェスティバル」開催記念イベント

第三部 東京 2020 パラリンピック兵庫県聖火フェスティバル (兵庫県内集火式・出立式)

(10) ひょうご障害者総合トレーニングセンター(仮称)の整備 (1,004,958 千円)

東京 2020 パラリンピック競技大会やワールドマスターズゲームズ 2021 関西を契機に、障害者スポーツへの関心が高まっていることから、それを維持し、障害者スポーツのさらなる振興を図るため、県全体の障害者スポーツ拠点を整備する。

<整備場所> 県立総合リハビリテーションセンター

資料 2

兵庫県スポーツ推進審議会

第 2 期兵庫県スポーツ推進計画の策定（諮問）

みだしのことについて、別紙理由を添えて諮問します。

令和 3 年 7 月 27 日

兵庫県教育委員会

教育長

西上 三鶴

(理由)

本県では、2012(平成24)年にスポーツ施策の基本的な考え方や、具体的な方向性を示す「兵庫県スポーツ推進計画～2023年(令和3年)」を策定し、「生涯スポーツ」「競技スポーツ」「障害者スポーツ」の環境づくりに取り組んできた。

この間、「ラグビーワールドカップ2019」、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」などの大規模国際大会が続くゴールデン・スポーツイヤーを契機に、国民のスポーツへの関心は益々高まりを見せており、さらに、新たなルールやスタイルで行なう競技や身体活動の誕生、パラスポーツや高齢者・女性スポーツの推進によるバリアフリー社会の実現など、スポーツを取り巻く環境は急速に変化している。

一方、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、さまざまなスポーツイベント、競技大会が延期・中止を余儀なくされ、日常の運動・スポーツ活動へも大きな影響を及ぼした。現時点においても、警戒態勢は継続されており、「withコロナ」「ポストコロナ」時代を見据えた運動・スポーツ活動の在り方を探る必要がある。

また、本格的な人口減少社会や人生100年時代の到来、更には、女性が社会の担い手として、様々な分野での活躍が求められており、健康増進や地域活性化に向け、スポーツのもつ潜在的で多様な価値への期待がますます高まっている。

以上のことを踏まえつつ、令和4年度からの第2期兵庫県スポーツ推進計画を策定するに当たり、主に次の事項を中心に御審議をお願いしたい。

第一に、本県スポーツ推進計画の成果と課題を踏まえつつ、今後10年間を見据えたスポーツ政策の在り方についてお示しいただきたい。

第二に、第一の今後10年間を見据えたスポーツ政策の在り方を踏まえた、今後5年間のスポーツ政策の目指すべき方向性及び主な施策の内容についてお示しいただきたい。その際、スポーツ基本計画の取組の方向性や具体的施策の実効性を高めることができるようにするため、

- スポーツ参加人口(障害者、女性、子供、高齢者等)の拡大
- 地域スポーツ環境(総合型地域スポーツクラブ、運動部活動等)の整備
- 競技力の向上及び強化拠点施設(アリーナ、トレーニングセンター等)の整備
- 障害者スポーツの推進及び環境整備
- スポーツの価値向上及び新型コロナ感染症対策への対応
- 各々の施策目標や具体的施策の達成状況に係る検証・評価

について自由闊達に御審議いただき、今年度中に、第2期兵庫県スポーツ推進計画に盛り込むべき内容として、今後のスポーツ施策の推進についての基本的方針及び諸方策を御提示いただきたい。これが今回の諮問を行う理由である。